

あの夏は悲しくて泣いたけれど  
今日は、君がくれた愛の優しさに  
……涙をこらえきれない!


<カラー作品>

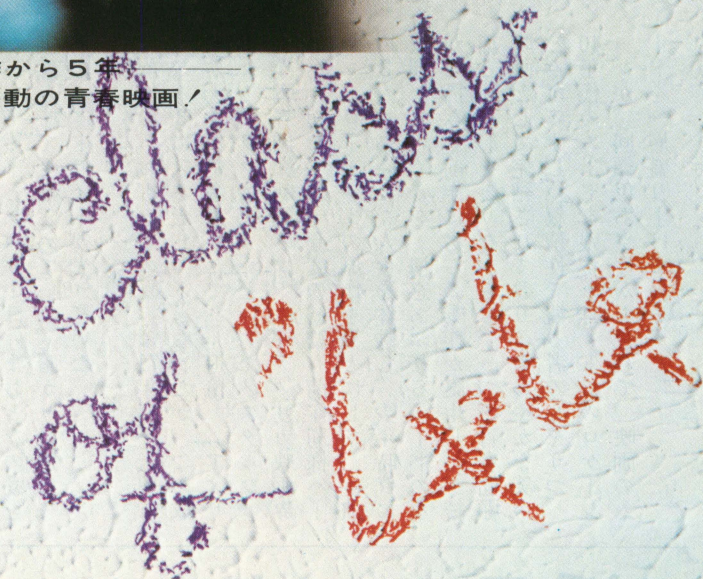
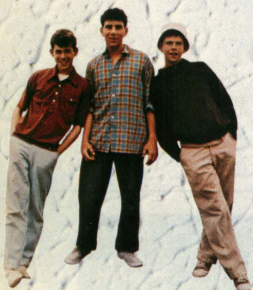
# 続 おもいで夏



青春のバイブルと名作の評価を高めた前作から5年——  
あの夏の陽と涙が再び若者の心をさらう感動の青春映画!

ゲーリー・グライムス  
ジェリー・ハウザー  
オリバー・コナント  
デボラ・ウィンタース  
製作/監督ポール・ボガード  
脚本ハーマン・ローチャー

 日本ヘラルド映画



●製作・監督／ポール・ボガード  
 ●脚本／ハーマン・ローチャー  
 ●撮影／アンドリュー・ラザロ  
 ●音楽／デビッド・シャイアー  
 日本ヘラルド映画 Herald



◆ゲアリー・グライムス  
 ◆ジェリー・ワウザー ◆オリバー・コナント  
 ◆デボラ・ウィンタース  
 ◆ウィリアム・アザートン ◆サム・ボトムズ

＜カラー作品＞

# 続 おもいで夏

CLASS OF '44

■前作「おもいで夏」  
 第2次大戦のさなか、思春期を過す少年の、  
 年上の女性への思慕を美しい映像のなかに描  
 いた名作。高校生のハーミーはニューイング  
 ランドの浜辺で夏のバカンスを過ごしていた。  
 人一倍異性に好奇心の強い彼は、いつしか美  
 しい人妻ドロシー（ジュニア・オニール）  
 に魅かれていった。彼女は夫が出征している  
 だけで暮らしていた。ある夜ハーミーが彼女の  
 部屋を訪ねると、夫の戦死の電報が届いてい  
 た。その夜2人はお互いの愛を確かめあつた  
 のだが、眼には涙があふれていた。翌朝ハー  
 ミーは去っていった。長い夏が終り、新しい  
 季節が始まろうとしていた。

■そしてあれから2年……  
 高校生活を終えた彼等3人は、いま新しい  
 世界へ旅立とうとしていた。ハーミー（ゲー  
 リー・グライムス）とオスキー（ジェリー・  
 ワウザー）は大学へ入学し、ベンジー（オリ  
 バー・コナント）は海兵隊に志願して去って  
 いった。ハーミーとオスキーにとっては初め  
 ての両親から離れた下宿生活。2人は同じ下  
 宿の部屋に落ち着いたが、予想以上に厳しい規  
 則や学業にとまどってしまった。オスキーは  
 すぐに学業に興味を失い、フットボールに熱  
 中し、他方ハーミーは入部しようと思ってい  
 た新聞部の女性ジュリー（デボラ・ウィンタ  
 ース）と恋に陥入った。ジュリーは自尊心が  
 強く、気の強い性格の女性だったが、知的で  
 大人びたその美しさにハーミーはいつの間  
 にか惹かれていったのだった。

■試練多き学園生活  
 やがてハーミーはジュリーのすすめで大学  
 内の友愛会に入ることに。友愛会に入  
 るのもっと自由で待遇のいい寮に入れるのだ  
 が、この入会式が大変だった。上級生に生タ  
 マゴを頭からぶつけられ、狭い電話ボックス  
 に十数人詰めこまれ、氷塊に埋められたオリ  
 ーブを尻で持ち運ばされたりするのだった。  
 屈辱的な入会テストだったが、試練に耐えた  
 男のしるしとして入会記念の鈴を贈られた。  
 ハーミーはその鈴をジュリーに贈り、2人は  
 お互いの愛を確かめあうのだった。

■友と別れ、愛に傷つき、父の死に出会う  
 その間にオスキーは女を連れこんだのがば  
 れて、退学処分になれ陸軍に入隊し、ハーミ  
 ーのもとから去っていった。ハーミーは自信  
 のない試験をカンニングで切り抜けようとし  
 ていた。毎日日々がなんとなく落ち着かない  
 というのもジュリーのところに昔のボーイフ  
 レンドが帰ってきて、ハーミーは嫉妬から彼

女といさかいを起こしてしまったのだ。そん  
 なる日、突然ハーミーの父が急死したとい  
 う不幸が起こり、葬儀のために実家に帰った  
 葬式が済んで亡き父の面影をしのいでいたと  
 ころへ、「葬式にまにあわなくてすまん」と  
 いいながらオスキーが訪ねてきた。2人は何  
 もかも忘れ、親友のベンジーのことを思いな  
 がら乾杯した。それは固い友情のしるしの乾  
 杯でもあり、少年時代への別れの乾杯でもあ  
 った。わけもなくハーミーの眼には涙がにじ  
 んでいた。

翌日ハーミーは大学へ帰って行った。駅に  
 降り立つとジュリーが車で迎えにきていた。  
 「私が悪かったわ、ごめんなさい。試験はパ  
 スしたわ。おめでとう。」というジュリーのや  
 さしさに、ハーミーは涙をこらえきれなかつ  
 た。ハーミーとジュリーはいまおとなの愛を  
 実感として受けとめていた。暗がりの道に一  
 筋のヘッドライトが光っていた。

※ ※ ※  
 前作の「おもいで夏」は71年度全米興行  
 ベスト3に入る大ヒットとなったが、この成  
 功が大きな刺激となって、「追憶」「アメリ  
 カン・グラフィティ」といったノスタルジッ  
 クな青春回顧映画のブームがアメリカ映画界  
 に巻き起こった。今度の続篇も前作同様ハー  
 マン・ローチャーの原作をもとにして、主演  
 の3人があらたな人生を体験し、少年時代に  
 訣別していく姿を、情感あふれるムードのな  
 かで描き、前作に劣らぬ秀作が誕生した。続  
 篇という形をとりながらも、一つの青春回顧  
 映画として完結されており、さわやかな笑い  
 とみずみずしい叙情性で観る者の心をうつ。  
 40年代のムードを残すトロントでのロケーシ  
 ョンが、回顔色あざやかな色彩で、映画のム  
 ードを一層盛り上げている。